

2023年3月期（第54期）決算補足説明資料

テナライド株式会社

2023年5月25日

I N D E X

■2023年3月期の業績動向について

- ・ 店舗状況
- ・ 経営成績に関する状況
- ・ 財政状態に関する状況
- ・ キャッシュ・フローに関する状況

■2024年3月期の見通しについて

店舗の状況 - 店舗の状況

※関東のF Cのレストラン業態1店舗及び居酒屋業態2店舗を含みます。

【業態別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
旬鮮酒場天狗	10店舗	—店舗	—店舗	△4店舗	△4店舗	6店舗
テング酒場	38店舗	—店舗	△5店舗	△11店舗	△16店舗	22店舗
神田屋	13店舗	5店舗	—店舗	12店舗	17店舗	30店舗
てんぐ大ホール	5店舗	—店舗	—店舗	8店舗	8店舗	13店舗
ミートキッチンlog50	2店舗	—店舗	—店舗	—店舗	—店舗	2店舗
和食れすとらん天狗	31店舗	—店舗	△2店舗	△5店舗	△7店舗	24店舗
合計	99店舗	5店舗	△7店舗	—店舗	△2店舗	97店舗

※「和食れすとらん天狗」に「旬鮮だいにんぐ天狗」「あげてけや」を含みます。

※「旬鮮酒場天狗」の業態変更は「神田屋」へ2店、「てんぐ大ホール」へ2店の計4店です。

※「テング酒場」の業態変更は「神田屋」へ10店、「てんぐ大ホール」へ1店の計11店です。

※「和食れすとらん天狗」の業態変更は「てんぐ大ホール」へ5店です。

【地域別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
合計	99店舗	5店舗	△7店舗	20店舗	△2店舗	97店舗
関東	85店舗	5店舗	△6店舗	15店舗	△1店舗	84店舗
関西	5店舗	—店舗	△1店舗	2店舗	△1店舗	4店舗
中部	9店舗	—店舗	—店舗	3店舗	—店舗	9店舗

店舗の状況 - 新店及びリニューアル店について

1. 新規出店状況

若年層の来客を視野に今後も出店を検討

「神田屋」を5店舗出店		
【 大衆スタンド神田屋 】	新橋西口通り店	十条店
【 大衆スタンド神田屋・魁 】	有楽町日比谷口店	
【 ニュー神田屋 】	渋谷東口宮益坂下店	
【 神田屋のスタンド タヤケ 】	新宿南口ルミネ前店	



2. リニューアル状況

首都圏・名古屋・京都など繁華性の高いエリア内店舗をリニューアルし集客力向上を目指す

新業態	旧業態	店舗(全20店)
神田屋	旬鮮酒場天狗	津田沼店、大宮西口店
	テング酒場	川口東口店、名古屋笹島店、水道橋東口店、鶴見東口店、稲毛東口店、名古屋栄店、心斎橋店、赤羽東口店、蒲田西口店、水道橋西口店
てんぐ大ホール	旬鮮酒場天狗	南池袋店、京都四条通り店
	テング酒場	渋谷マークシティ前店
	和食れすとらん天狗	八王子店、高幡不動店、吉祥寺サンロード店、馬事公苑店、名古屋原店

経営成績に関する状況①—概況（連結）

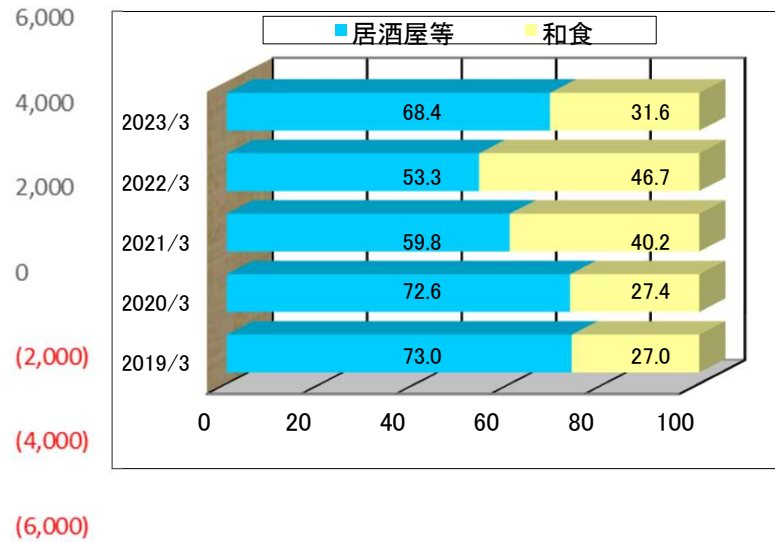
連結実績(百万円)	前期(2022/3期)	構成比%	当期(2023/3期)	構成比%	増減率%
売上高	4,823	100.0	9,489	100.0	196.6
売上原価	1,627	33.7	2,895	30.5	177.9
売上総利益	3,195	66.3	6,594	69.5	206.4
販管費	6,328	131.2	7,923	83.5	125.2
営業利益	△3,132	△65.0	△1,328	△14.0	57.6
営業外収益	2,887	59.9	515	5.4	17.9
営業外費用	44	0.9	51	0.5	114.8
経常利益	△290	△6.0	△864	△9.1	△197.8
特別利益	11	0.2	2	0.0	21.5
特別損失	7	0.2	240	2.5	3,404.6
税金等調整前当期純利益	△285	△5.9	△1,102	△11.6	△285.9
当期純利益	△339	△7.0	△1,147	△12.1	△23.7.7
1株当たり当期純利益	△12円34銭		△39円14銭		
自己資本当期純利益率	△25.0%		△61.7%		
総資産経常利益率	△4.1%		△11.5%		

経営成績に関する状況 - 売上高・売上構成の推移

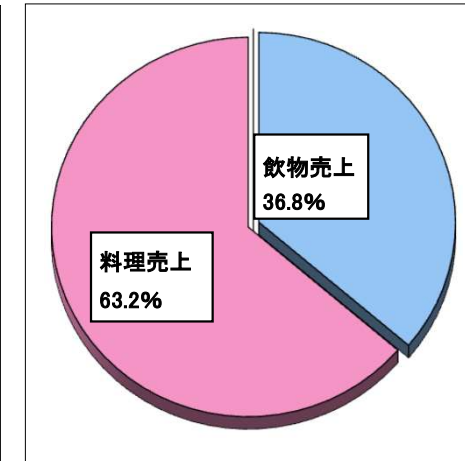
売上実績推移 ※1



業態別売上構成比 ※2



品種別売上構成比 ※3



●売上高について (※1)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた各種行動制限の緩和が進んだことにより、売上高は大幅に増加しております。2024年3月期は店舗形態の見直しや収益基盤の強化推進により5期ぶりの最終黒字転換の見込みです。

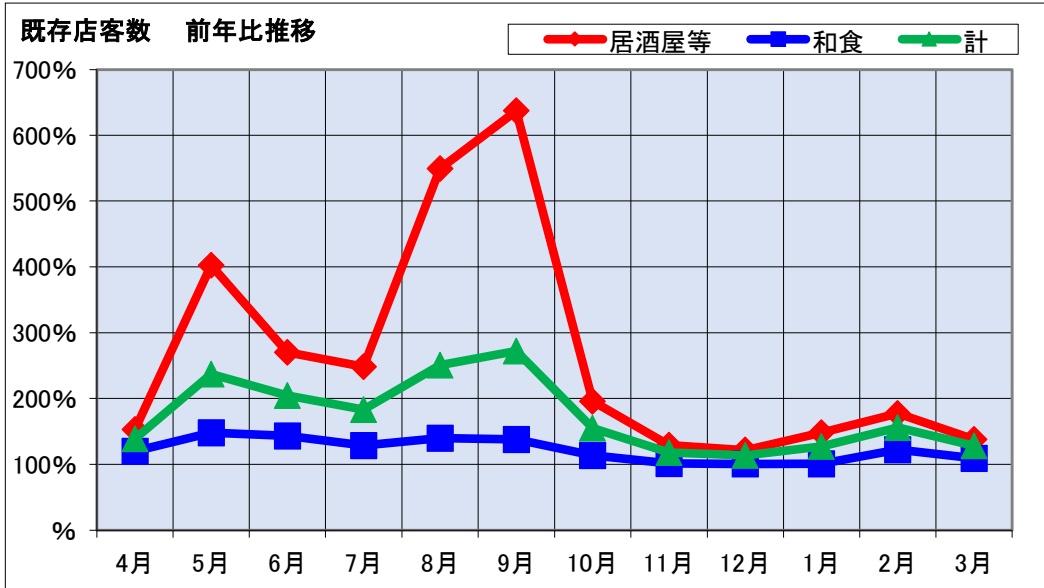
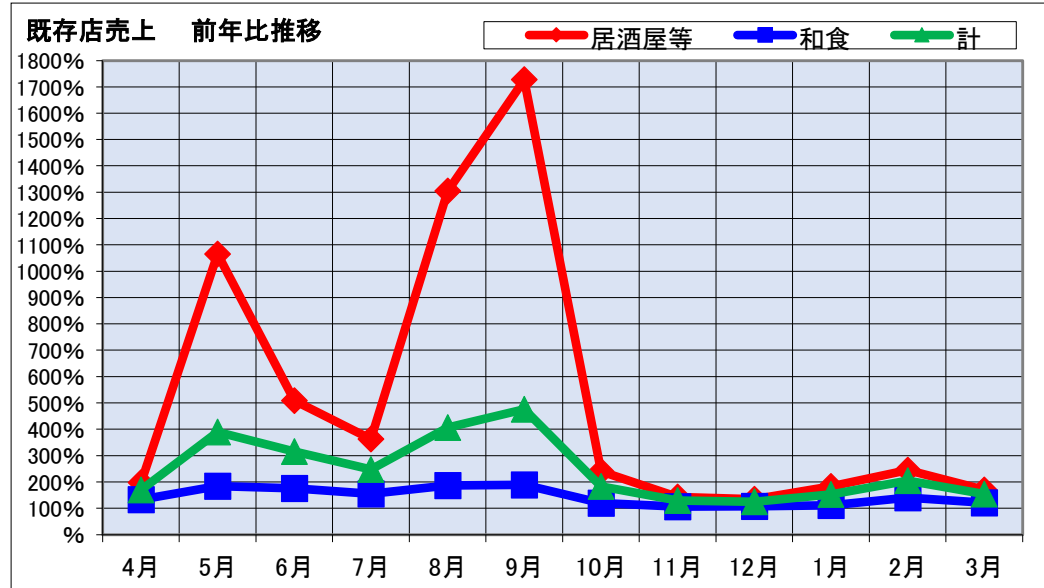
●業態別売上構成比について (※2)

上記要因により居酒屋等の店舗売上高が伸び、構成比も増加しております。

●品種別売上構成比について (※2・※3)

居酒屋等の売上構成比が増加したことにより、飲物売上の構成比が増加しております。

経営成績に関する状況 - 既存店売上の推移



既存条件 : 同月のフル稼働店舗のみを対象 (リニューアル期間は除く)。

客単価 (上記条件で抽出)

	前期平均	当期平均	増減率
旬鮮酒場天狗	1,462円	1,925円	131.7%
テング酒場	1,257円	1,737円	138.2%
神田屋	1,621円	1,895円	117.0%
てんぐ大ホール	1,398円	1,636円	117.1%
ミートキッチンlog50	2,132円	2,642円	123.9%
和食れすとらん天狗	1,319円	1,506円	114.1%

●売上・客数について
 全業態で回復基調にあります。緊急事態宣言の解除により、特に居酒屋業態において売上・客数が大幅に増加しております。

●客単価について
 新商品導入やメニュー政策において販売価格の見直し等を行った結果、全業態で客単価が上昇しております。

経営成績に関する状況④ー原価、経費等

売上原価	前期構成比率：33.7%	当期構成比率：30.5%	構成比率増減：△3.2pt
-------------	--------------	--------------	---------------

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた各種行動制限が緩和され、夜の売上回復及びそれに伴い飲物売上比率が増加し、原価率は減少しております。

人件費	前期構成比率：67.4%	当期構成比率：43.4%	構成比率増減：△24.0pt
------------	--------------	--------------	----------------

売上増加によるパート雑給の増加や他社出向の解除により、人件費は9億3百万円増加しておりますが、売上の増加に伴い人件費率は大幅に減少しております。

その他経費	前期構成比率：63.8%	当期構成比率：39.2%	構成比率増減：△24.6pt
--------------	--------------	--------------	----------------

エネルギーコストの上昇、賃料交渉による賃料の減免が解除されたことなどにより販管費は6億91百万円増加しておりますが、売上の増加に伴いその他経費比率は大幅に減少しております。

営業外収益・費用	(収益) 当期実績	5億15百万円	(前期比：23億71百万円減少)	※主に感染拡大防止協力金、雇用調整助成金の減少
	(費用) 当期実績	51百万円	(前期比：6百万円増加)	

特別利益・損失	(利益) 当期実績	2百万円	(前期比：9百万円減少)	※主に減損損失、店舗閉鎖損失引当金の増加
	(損失) 当期実績	2億40百万円	(前期比：2億33百万円増加)	

財政状態に関する状況

※前期末との対比

連結実績(百万円)	前期末(2022/3期)	構成比%	当期末(2023/3期)	構成比%	増減額
流動資産	3,667	49.3	4,091	54.2	424
有形固定資産	1,635	22.0	1,466	19.4	△169
無形固定資産	51	0.7	73	1.0	△22
投資その他	2,078	28.0	1,916	25.4	△162
固定資産	3,765	50.7	3,456	45.8	△309
資産 合計	7,432	100.0	7,548	100.0	115
流動負債	3,324	44.7	3,738	49.5	414
固定負債	2,130	28.7	2,061	27.3	△69
負債 合計	5,455	73.4	5,800	76.8	344
純資産 合計	1,977	26.6	1,747	23.2	△229
負債・純資産 合計	7,432	100.0	7,548	100.0	115
1株当たり純資産	△23円70銭		△28円22銭		
自己資本比率	26.6%		23.0%		

【資産の主な増減】

- 現預金の増加
- 売掛金の増加(2023年3月度の対前年売上増加)
- 未収入金の増加(閉店店舗の保証金・敷金回収)
- 有形固定資産の減少(減価償却)

【負債・純資産の主な増減】

- 買掛金の増加(2023年3月度の対前年売上増加)
- 未払消費税の増加(2023年度の対前年売上増加)
- 資本剰余金の増加
- 利益剰余金の減少

キャッシュ・フローに関する状況

連結実績(百万円)	前期末(2022/3期)	当期末(2023/3期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△903	△313	589
(主な増減)			
税金等調整前当期純利益	△285	△1,102	△816
減価償却費	358	353	△4
減損損失	1	171	171
売上債権の増減額(△は増加)	△37	△83	△45
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10	279	289
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△827	84	912
投資活動によるキャッシュ・フロー	490	△205	△696
(主な増減)			
有形固定資産の取得による支出	△94	△203	△108
敷金・保証金の回収による収入	830	72	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,055	749	△1,305
(主な増減)			
株式の発行による収入	1,500	1,003	△496
リース債務の返済による支出	△164	△150	14
配当金の支払額	0	△116	△116
現金(同等物)の増減額	1,643	230	△1,412
現金(同等物)の期首残高	1,524	3,167	1,642
現金(同等物)の期末残高	3,167	3,398	230

2024年3月期（通期）の見通し

連結（百万円）	2023/3期 （実績）		2024/3期 （見込）		増減
売上高	9,489	100.0	10,829	100.0	6,006
売上総利益	6,594	69.5	7,850	72.5	4655
営業利益	△1,328	△14.0	180	1.7	3,312
経常利益	△864	△9.1	164	1.5	454
当期純利益	△1,147	△12.1	50	0.5	389
1株当たり当期純利益	△39.14円		1.71円		

次期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた各種行動制限の緩和が進み、消費意欲は改善傾向にあります。しかしながら、消費者のライフスタイルや行動態様が大幅に変化しているとともに、資源の高騰や円安に伴う物価の上昇により、原材料費をはじめ人件費や水光熱費等の様々なコストの上昇が懸念され、厳しい経営環境は依然として継続するものと思われま。

このような状況下において店舗の収益基盤の更なる強化を推し進めるとともに、情報インフラ整備に着手予定であります。

テナライドについて

会社概要



設立	1969年12月
資本金	5000万円
代表取締役社長	飯田 永太
従業員数	2,355名（正社員257名） 2023年3月31日現在
平均年齢	41歳 2023年3月31日現在
事業内容	総合フードサービス業 (旬鮮酒場天狗・テング酒場・和食れすとらん天狗・ミートキッチンlog50・大衆スタンド神田屋・あげてけや・てんぐ大ホールの企画運営及び食品等小売業)
取引銀行	三菱UFJ銀行 大伝馬町支店、みずほ銀行 横山町支店
株式	東証スタンダード市場

「安心と安全」を届けるセントラルキッチン



セントラルキッチン導入により業務効率化、コストダウンおよび衛生面で貢献

農林水産大臣賞を受賞



国産食材の積極使用により第19回国産食材安定調達部門において受賞
陶酔にいざなうオリジナル美酒



自社オリジナルブランドやワイナリー直輸入品を提供